



湯河原小学校

新年度スタート 地域を知り、郷土を愛する児童を求めて

本校では、年間を通して、さまざまな地域の教育力を積極的に取り入れた教育活動を行っています。

○1年生…4月～5月／あゆの放流（湯河原観光漁業協同組合主催）

（平成22年度は2年生）

○2年生…3月／ホタルの放流（社湯河原温泉観光協会主催）（平成22年度は1年生）

○3年生…9月～10月／温泉入浴体験（湯河原温泉旅館協同組合青年部主催、湯河原温泉おかみの会・温泉場区会協力）

○4年生…5月／茶摘み（教育委員会主催）

これらの活動は、地域の方々が将来の湯河原を担う子どもたちのために、郷土の良さを伝え、郷土を大切にして欲しいという願いが込められているものです。例えば、

3月12日（金）に行われたホタルの放流では、「幼虫を放流すると、すぐに草の下に隠れました。大きくなつて、光って欲しいです。」という児童の感想があり、自然と親しむ心が見られました。

これらの他に、低学年の生活科では、児童たちが歩いて学区を探検したり、中学年の社会科では、町の商店街のお店を調べたり、美化センターへ訪問したりと、現地での体験を通した学習を行っています。児童たちは、地域にある自然や文化、人々の暮らしを自分の目で見ることにより、地域の良さや生活の営みを考えます。さらに、高学年は、湯河原をもっと良くしていこうという考えを持って、自分ができることを学習し、「町子ども議会」の提案にもつなげてい

ます。昨年度、本校の児童から提案された「町民交流の場としての公園の利用について」は、福祉と教育の二つの視点から地域を見つめた斬新な意見でした。

これらの児童たちの活動については、当日に、学校支援ボランティアの方々の誠意ある見守り活動をいただき、児童たちが安心して学習できる環境づくりが整備されました。今年度も学習のサポートとして、ボランティアの方々にご協力いただき、郷土を愛する心がさらに深まるよう期待しています。



吉浜小学校

平成22年度学校教育目標『共に生き、共に学び、共に育つ、心豊かな児童の育成』 児童のスローガン【ありがとう・ごめんね】

平成22年度も、ぴかぴかの1年生や新しい教職員が加わりスタートします。

今年度の学校教育目標は、昨年度までの成果と課題を生かし、『共に生き、共に学び、共に育つ、心豊かな児童の育成』としました。

教育界は、いじめや不登校をはじめ、暴力行為、家庭内暴力など、学校内だけではなく、家庭の教育力や地域の教育力の不足が叫ばれています。子どもたちの安らぎの場所が少なくなっていることも事実です。

地域社会でも学校でも、色々な立場の人たちが一緒に生活しています。そこで生活するためには、

相手の立場を考え、尊重し、協力し合い、共に生き、共に育つことのできる心の優しさが大切になります。

そこで、小学校生活ではだれとでも仲良くし、一人一人の子どもが、「学校は楽しい、友だちと一緒にいることが楽しい、授業が楽しい」という体験を通して、心豊かな子どもを育てていきたいと考えています。そして、その教育目標を実現するためのスローガンとして、子どもにも、保護者にも、そして地域の方にも分かりやすいように、また、取り組みやすいように、「ありがとう・ごめんね」を掲げました。

人は一人では決して生きていけません。たくさんの人に助けられ、見守られ、成長していきます。だから、人に感謝する言葉「ありがとう」が言える子、「ありがとう」と言われる子になって欲しいし、自分のとった行動を反省し、「ごめんね」が素直に言える、心の優しい子になって欲しいと思っています。

